

獨協医科大学病院 脳卒中・心臓病等総合支援センターPR 「脳卒中・循環器(心臓・血管)相談窓口」開設

2019年国民生活基礎調査では、要介護5の認定を受ける人の約28%は脳卒中または心臓病が原因という結果がでている。厚生労働省は、脳卒中や心臓病の患者及びその家族への情報提供・相談支援等に対する総合的な取り組みを、都道府県及び地域の中心的な医療機関と連携し、同取り組みを包括的に支援できるよう体制の整備を推進。獨協医科大学病院は、包括的な支援体制を構築する厚生労働省の2022年度モデル事業実施機関に選定されている。

取材協力:栃木県保健福祉部健康増進課

誰もが利用できる相談窓口



獨協医科大学病院脳卒中センター センター長 竹川 英宏

モードル事業を2022年に開始し、獨協医科大学病院がその一つに選ばれました。この「脳卒中・心臓病等総合支援センター」は防護施設の方や医療者向けの情報発信に加え、患者さんやご家族との相談支援が重視されています。そこで、「脳卒中・循環器(心臓・血管)相談窓口」の名称を得られるものであります。そこでは、専門医・専門職による責任制となっていま

す。そこで、「脳卒中・循環器(心臓・血管)相談窓口」は、専門医・専門職による責任制となっていま

す。そこで、「脳卒中・循環器(心臓・血管)相談窓口」は、専門医・専門職による責任制となっていま

す。そこで、「脳卒中・循環器(心臓・血管)相談窓口」は、専門医・専門職による責任制となっていま

す。そこで、「脳卒中・循環器(心臓・血管)相談窓口」は、専門医・専門職による責任制となっていま

す。そこで、「脳卒中・循環器(心臓・血管)相談窓口」は、専門医・専門職による責任制となっていま

す。そこで、「脳卒中・循環器(心臓・血管)相談窓口」は、専門医・専門職による責任制となっていま

す。そこで、「脳卒中・循環器(心臓・血管)相談窓口」は、専門医・専門職による責任制となっていま

す。そこで、「脳卒中・循環器(心臓・血管)相談窓口」は、専門医・専門職による責任制となっていま

栃木県や医療機関と連携



心臓・血管内科/循環器内科 教授・診療部長 豊田 茂

●経歴
1993年 獨協医科大学 医学部 医学科卒
1999年 獨協医科大学 第一内科(現心臓・血管内科/循環器内科)入局
2000年 獨協医科大学 大学院修了
2006年 獨協医科大学 第一内科 助手
2011年 獨協医科大学 第一内科 講師
2013年 獨協医科大学 第一内科 准教授
2021年 獨協医科大学病院 地域連携・患者サポートセンター 副センター長
2022年 獨協医科大学病院 心臓血管内科 副センター長(～現在)
獨協医科大学病院 ハートセンター 副センター長(～現在)
獨協医科大学先端医科学研究センターセンター長(～現在)
獨協医科大学病院 臨床研究管理センター長(～現在)

厚生労働省から2020年10月に「循環器対策推進基本計画」が発表され、栃木県は全国に先駆け2021年3月に「栃木県循環器病対策推進計画」を公表しました。この計画では、脳卒中・心臓病の予防・医療体制の整備が進められ、その中に、豊田茂さんらが安心して暮らせる社会づくり、情報提供などの目標が立てられています。獨協医科大学病院は、(公社)日本脳卒中協会栃木県支部(事務局)として、この計画で、脳卒中・心臓病の相談支援が行なわれています。この取り組みを拡大するため、独協医科大学は、相談内容に応じて最も適切な職種をもつ専門職が回答することです。医療等総合支援センターの相談窓口を開設しました。この取り組みを活かして、さらに相談支援を拡大するため、厚生労働省は「令和4年度 脳卒中・心臓病相談窓口」を設置する旨を示唆する可能性があります。

●経歴
1998年 獨協医科大学 医学部 医学科卒
2004年 獨協医科大学 大学院 内科学(神経)修了、獨協医科大学 神経内科 助手
2009年 獨協医科大学 神経内科 講師
2012年 獨協医科大学 神経内科 准教授
2014年 獨協医科大学病院 超音波センター長(～現在)
2016年 獨協医科大学病院 脳卒中センター長、教授(～現在)
2018年 日本脳卒中協会 栃木県支部 部長(～現在)
2020年 日本脳卒中協会 専務理事・事務局長(～現在)
2022年 日本脳卒中協会 専務理事・事務局長(～現在)

厚生労働省のモデル事業

厚生労働省は「令和4年度 脳卒中・心臓病相談窓口」の相談窓口の一番の特徴

厚生労働省のモデル事業

厚生労働省は「令和4年度 脳卒中・心臓病相談窓口」の相談窓口の一番の特徴

厚生労働省は「令和4年度 脳卒中・心臓病相談窓口」の相談窓口の一番の特徴